

令和6年度 長崎県道路メンテナンス会議(技術検討部会)

<概要>

- ・令和6年度 長崎県道路メンテナンス会議(技術検討部会)において、道路施設管理職員の技術力向上や今後のマネジメント(維持管理)等へ展開されることを目的とし、各自治体での症例を基に道路施設の健全度の判定や補修・補強技術など、自治体が悩んでいる案件について助言を受けた。
- ・開催日: 令和6年8月7日
- ・参加者: TEC-Doctor(長崎大学 山口准教授／佐々木准教授)、テックシニアーズ、九州地方整備局、九州道路メンテナンスセンター、長崎河川国道事務所、長崎県、長崎県内21市町、西日本高速道路(株)等

TEC-Doctor
長崎大学 佐々木准教授

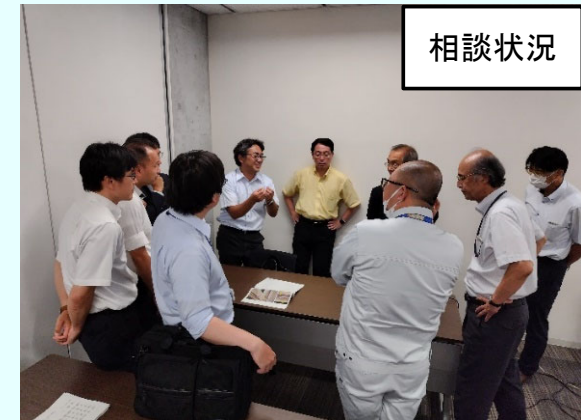


会議状況

TEC-Doctor
長崎大学 山口准教授



会議状況



相談状況

【自治体からの懸案】

- ・床版の広範囲で鉄筋露出がみられ、早期に措置を講ずべき状態であるが、耕作地へのルートとして、集約撤去が難しい橋梁であるため、B/C、整備水準から架け替えを行わない補修方法や管理方法を模索したい。

【TEC-Doctorの見解】

- ・上部工の死荷重を増やさなければ、下部工の改修・補強等までは不要であると考える。
- ・道路管理者として何らかの対応をすべき状況であり、下部工が安定しているのであれば、荷重を考慮した上部工のみの架け替えも検討することが望ましい。